



海外駐在員事務所が伝える

グローバルの今

FFGでは、独自のネットワークを活かしてお客さまの海外ビジネスを総合サポートしています。

今回、台北駐在員事務所の才田所長に現地の情報やビジネスについて伺いました。

Question 1

現地の状況について 教えてください

A 半導体受託生産世界最大手であるTSMC(台湾積体電路製造、台湾新竹市)の熊本進出を受けて、台湾半導体サプライチェーン企業の九州進出も増えてきました。九州進出を決めた台湾企業からは、「TSMCが熊本への第2工場建設を決定したことで、相応の取引規模や継続的なメンテナンス需要により収益確保が見込めると判断し、九州進出を決定した。」との声がよく聞かれます。

台湾では、TSMCが本社を置く台湾北西部の新竹に半導体サプライチェーン企業が集積しており、日本においても、TSMC熊本工場がある菊陽町近郊に半導体サプライチェーン企業が進出する傾向があります。一方で、熊本県内の用地には限りがあることから、熊本県以外への進出を検討する企業も一部では見られます。(※)

TSMCは半導体「前工程」の最大手ですが、2024年7月

(※)九州へ進出する台湾の半導体サプライチェーン一例

年月	会社名	主な事業内容	売上 (2023年12月期*)	九州への進出状況
2023年8月	崇越科技 (Topco)	半導体商社	2,272億円	熊本に営業所開設
2023年9月	閩康科技 (MA-tek)	半導体分析	221億円	熊本に分析拠点開設
2024年中	明遠精密 (Finesse)	半導体製造装置 製造・修理	33億円	熊本に現地法人設立
2024年4月	漢民科技 (Hermes-Epitek)	半導体製造装置 製造	非開示	熊本にオフィス開設
2024年4月	家登精密工業 (Gudeng)	半導体ウエハー 搬送器製造	234億円	福岡県久留米地区に 工場建設用地を取得

※為替レートは、2023年12月29日の1台湾ドル=4.61円にて算出 出所:TVBS新聞台、各社HP

に、半導体「後工程」の最大手であるASE(日月光投資控股、台湾高雄市)が北九州市への進出を検討しているとの報道がなされており、進出が実現すれば、後工程に携わる台湾のサプライチェーン企業の北九州近郊への進出など、九州での半導体関連産業の集積が更に進む可能性があります。

また、こうした台湾企業の動き

Question 2

現地企業の声を 聞かせて下さい

A 主に半導体分析や検査事業を手掛けており2023年9月に熊本市に進出した「閩康科技(MA-tek)」の謝董事長にお話を伺いました。

『現地企業の声』

弊社は、半導体の構造や材料の分析を行う会社です。台湾の半導体業界では、研究開発の高度化に伴い使用する装置も高額化しているため、分析業務を外注したいというニーズが高まっています。弊社は24時間体制で分析を行っており、最短で翌日には結果を回答することが可能です。

弊社は、2007年に日本へ進出し、TSMCの熊本進出を契

に伴い、九州に住む台湾人の増加が見込まれることから、台湾人をターゲットとした賃貸物件やホテルなどの不動産業や飲食店などのサービス業の進出も続いています。

新竹サイエンスパーク内に本社を構えるTSMC、閩康科技 (MA-tek) から車で5分 (写真はTSMCミュージアム)



閩康科技 (MA-tek) 本社での記念撮影
左3番目から立木常務 (熊本銀行)、坂本頭取 (熊本銀行)、謝董事長、工藤執行役員 (福岡銀行)、李財務長、楊處長



機に九州へ半導体関連企業が集積することが見込まれるため2023年に熊本に拠点を増設しました。

熊本では半導体や自動車関連の企業とお取引させていただき、受注も好調であることから、分析スペースの拡張を進めています。

九州で研究開発を行っている企

Question 3

駐在員事務所の活動事例を紹介してください

A 台北駐在員事務所は、2015年12月の事務所開設以降、九州の皆さまの台湾での拠点設立や販路拡大のサポートを行っています。最近では、九州への進出を検討する台湾企業からのご相談も増加しています。

台湾企業からは、口座開設などの銀行業務だけでなく、不動産情報、人材やパートナー企業のご紹介依頼など様々なご相談を承っており、そうした台湾企業のニーズに対して、本部関連部署や営業店と連携し、FFGのネットワークを活用した情報のご提供や、

業の皆さまに、弊社が台湾で培ってきた分析技術や24時間体制での分析対応をご利用いただくことで、研究開発のスピードアップや設備投資のコストダウンが可能となり、より競争力のある製品の提供に貢献できると考えております。

Question 4

国内企業とのビジネスマッチングのサポートを行っています。

海外ビジネスを目指すお客さまへメッセージをお願いします

A TSMCの進出により、半導体関連だけでなく様々な業種の台湾企業や投資家が九州でのビジネスに関心を示しており、九州企業にとっては、台湾企業との新たなビジネスチャンスが見込まれます。

台湾人の多くは親日で日本と台湾は親和性が高いと言われていますが、ビジネスにおいては、言語、商慣習の違いや、台湾企業から求められる迅速な意思決定への戸惑いなど、台湾企業とのビジネスに苦慮する日本企業も見受けられます。

台北駐在員事務所は、九州と台湾の懸け橋となり、九州企業の皆さまが台湾企業との取引を円滑に行えるようお手伝いさせていただきますので、是非ご活用ください。



現地のおすすめや過ごし方を
ご紹介下さい

台湾では、生け簀に泳いでいる手長エビを釣って、その場で調理して食べることができ「エビ釣り」が市民の娯楽として定着しています。

中華料理にも数多く使われるエビは台湾でも人気の食材で、釣りも食事も楽しめる「エビ釣り」は、家族連れや若いカップルなど幅広い年代の方々に賑わっています。

台湾にお越しの際には、台湾ビールを片手に現地の人々に囲まれながらエビを釣る、台湾で人気の娯楽を楽しまれてはいかがでしょうか。

